



大正っ子

帯広市立大正小学校

HP:<http://www.taisyo.obihiro.ed.jp>

令和5年12月18日



「聴く力」を育てる!

校長 田中 善久

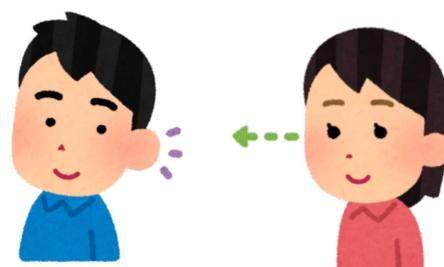
4年生の参観日の授業の冒頭、担任の西明先生が、「さまざまなことを身につけ成長した4年生ですが、「聴く（聞く）」ということにこれまで以上に力を入れていきましょう…」とお話がありました。

近年は、SNSなどを通じたバーチャルなコミュニケーションが一般化し、目の前にいる相手の話をじっくりと聞く機会が減っています。しかし、「聞く」ことは、人の話に集中し、よく理解するための重要なスキルです。子どもは「聞く力」を身につけることで、以下のようなさまざまな力を育むことができます。

- ・学力：「聞く→わかる→楽しい→もっと知りたい→聞く」という学びの好循環が生まれます。
- ・表現力や語彙力：音声を敏感に聞き取る力は子どものころのほうが優れており、成長とともに失われていきます。子どものころから聞く力があれば、耳から新しい表現や言葉をキャッチして、どんどん習得していくことができます。
- ・集中力：落ち着いて相手の話を聞くことで、集中力が養われます。
- ・我慢強さ：相手の話の途中で口を挟んだり、無視したりせずしっかりと耳を傾けることで、我慢強さも身につきます。
- ・共感力：子どもは自分の気持ちをわかってもらいたい思いが強く、相手を理解することはまだ得意ではありませんが、話を聞く習慣をつけることで、相手の気持ちを理解できるようになっていきます。

「聴く」という漢字ですが、この漢字一文字には4つの「聞き方」がこめられています。

1つ目は、「耳」で聞く、です。
2つ目は、「目」で聞く、です。
3つ目は、「心」で聞く、です。
4つ目は、「素直」に聞く、です。



「耳」「目」「心」はそれぞれ「聴」という漢字の中に含まれている字なのですが、4つ目の「素直」に聞くは、どういうことかと言いますと、「聴」という感じに似た漢字で「徳」という漢字があります。この「徳」という字は、もともと **徳** であったとされています。

ぎょうにんべんには、「行く」「歩く」と言った意味があります。つまり「徳」という漢字は「真っ直ぐな心で行く」と言う意味を表しているそうです。

大正っ子たちはとても素直な目で、とても素直な心でお話を聞くことができる子たちです。目が、耳が、心が真っ直ぐな聞き手となった時、「聴く」ことは楽しいと感じるものです。相手の話をよく聞き、よく理解するということは、相手を尊重することであり、共感することでもあります。

「聴く」を大切にするということは、子供たち同士の関係づくりに今後も大いにプラスになることでしょう。

5年生の学習発表会の様子!



ステージを使って
体育の学習で練習し
た技を披露
お見事!



↑ 生き生きとした表情で華麗なダンス



松前先生の指揮棒は、鼓笛隊の長い指揮棒(笑)



5年生の息の合った発表はステキでした。

1月行事予定

12日(金) 始業式

16日(火) 給食費納入日
全校スケート(オーバル)

17日(水) 給食費納入日
ナウマン号巡回日

20日(土) 子ども広場(体育館)

23日(火) 学年費納入日
ALT来校日

25日(木) 乗り物利用学習1,2年生